

科目コード	科目名	担当者	単位	科専攻	開講期	必・選
KSO-0-L-2	地域社会学	伊藤 宏	2	全科	前期	選択
授業の概要	社会学は、個人と社会の関連を研究の対象とし、社会がいかになり立つかを考察する学問である。この講義では、個人の誕生から関わる家族集団を出発点とし、様々な社会集団について学んでいく。その中で、特に和歌山県の地域社会に着目し、地域振興や防災、コミュニティのあり方、和歌山県における過疎化等の問題などについて考察する。					
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な問題に対する社会学的アプローチを理解する。 ・ 社会における様々な集団の特徴や問題点を理解する。 ・ 身近な地域社会、そして和歌山県における自らの関わり方や役割を理解する。 					
学習成果の区分		学生の到達目標				
◎	知識・理解	地域社会への学問的アプローチができるようになる。				
○	論理的思考力・問題解決力	身近な地域の問題を社会学的に捉え解決策を提案できる。				
△	社会的責任	地域社会における自分の役割を考えることができる。				
△	自己管理能力	遅刻や無断欠席をせず、課題などをきちんとこなすことができる。				
回	授業のテーマ及び内容	8	地域集団	都市化と地域社会		
1	はじめに (個人と社会)	9	地域社会の実態	産業構造の高度化の影響		
2	社会学とは何か その目的と、学ぶことの意義	10	地域社会の危機	地場産業の衰退と過疎		
3	社会集団とは何か 集団の分類	11	コミュニティとは何か	その必要性の見直し		
4	基礎集団① 家族集団	12	地域振興とコミュニティ	和歌山県における町おこし		
5	基礎集団② 家族内コミュニケーション	13	災害とコミュニティ	東日本大震災後の防災対策		
6	基礎集団③ 友達・仲間集団	14	コミュニティ・ビジネス	その可能性と問題点		
7	機能集団 組織とはどういうものか	15	まとめ			
成績評価方法(観点別)						
学習成果		◎	○	△	△	評価の割合(%)
成績評価方法						
期 末 試 験		50	20	5		75%
課 題 ・ 小 テ ス ト 等		10		5		15%
受講態度・授業への参加度					10	10%
評 価 の 割 合 (%)		60%	20%	10%	10%	100%
教 科 書	特に指定はせず、講義毎にプリントを配布する。					
参 考 書	田中きよむ他著『限界集落の生活と地域づくり』晃洋書房 熊倉功夫監修・米谷武文編『農の6次産業化と地域振興』春風社 波出石誠著『廃校の民間活用と地域活性化』日本評論社					
授 業 外 の 学 習 方 法	毎回、授業終了時に与える課題にきちんと取り組むこと。					
免 許 ・ 資 格	秘書士 ^㉞ ・上級秘書士 ^㉞ ・上級秘書士 ^㉞ (メディカル秘書)・情報処理士 ^㉞ ・ 上級情報処理士 ^㉞ 選択科目					
地 域 に 関 す る 学 習	該当有り					
備 考						